

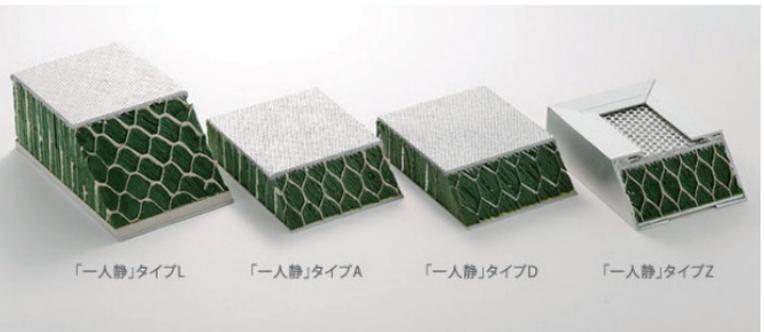
高速道路から音楽スタジオまで 防音・騒音対策なら 万全の「一人静」シリーズ

静科

静科（大和市深見西、掛田昌恵社長、046・260・2789）は、工事現場や工場の機械設備から一般家庭まで、多様なニーズに対応する騒音、防音対策製品を製造・販売しており、東日本高速道路との共同開発をはじめ、工場の大型機械音対策や、東京都現代美術館にて公開された音響作品など幅広い販売、施工実績を持つ。

これまでの防音や騒音対策は、重量や厚みのある素材で音源を囲う方法が一般的であり、大掛かりな工事が必要だった。同社では、素材に吸音フォームを充填したハニカム材を使用することで軽量薄型化に成功、独自の組合せと技術による遮音・吸音パネル「一人静」シリーズを開発。画期的な防音材として注目を集めている。

以前は飛行機や新幹線の部品を製造していた経緯もあり、高橋専務は「一人静」開発のきっかけについて「工場の周りで飛行機の離着陸音に悩む人が多いこと、そして、



さまざまな用途に対応した「一人静」ラインナップ

従来製品ではなかなかその問題を解決できていないことに気づいた。また、『厚く重くて工場や機械に使いにくい』、『自宅に気軽に設置できない』といった問題を解決し、お役に立てるような製品を開発したいと考えた」と説明する。そして生まれ「一人静」シ

リーズは、防音性能のほか、放熱性を高めたもの、耐水性を高めたものなどをラインナップしてさまざまな顧客ニーズに対応する。これらを組合せ、オーダーメイドでの施工も可能であり、好評を博している。また、個人向けにカッターナイフでも加工可能なモデルもあり、工場から集合住宅まで、音を遮蔽した快適な環境を求める全ての顧客に応えることができる。「一人静」の技術を活かし、音響空間に特化した製品「SHIZUKA Stillness Panel」は、レコーディングスタジオなどプロの制作現場にも多数利用されている。

「騒音や雑音の悩みを解決するのが私たちの使命」と語る高橋専務。同社製品へ興味のある方は、是非ホームページへ



工場用ダクトの防音施工例

(<http://www.hitori-shizuka.jp/>)